

社団法人園芸いばらき振興協会

[法人の概要]

平成18年7月1日現在

代表者名	村田 省吾	県所管部課	農林水産部 園芸流通課	
所在地	水戸市笠原町978-26	電話番号	029-301-1115	
ホームページURL	www.engei-ibaraki.or.jp	E-mailアドレス	h.wtnb@engei-ibaraki.or.jp	
資本金(基本財産)	一 千円	設立年月日	平成7年7月19日	
主な出資者	出資順位	出 資 者 名	出資額	出資比率
	1		一 千円	一 %
	2		一 千円	一 %
	3		一 千円	一 %
	4		一 千円	一 %
	5		一 千円	一 %
	その他	団体	一 千円	一 %
設 立 的 目 的	園芸生産組織の整備強化, 生産技術の向上, 経営基盤の強化及び安定化並びに流通の改善を図ることとともに, 園芸農家等から排出される使用済農業用プラスチックの適正処理の啓蒙, 指導, 円滑な回収及び中間処理に関すること並びに園芸作物の種苗の生産, 配布及び普及を行い園芸農家の健全な発展と農村環境の保全に寄与することを目的に設立した。			

[事業の概要]

事業名	平成18年度事業費	内 容
事業1 園芸組織対策事業	17,890 千円	生産, 販売面での組織力の強化を図るため, 品目別協議会を設立し, 任意組合や個人出荷者を含めた研修会等の開催, 情報誌の発行, 各種団体への表彰事業及び流通対策として野菜消費宣伝のため野菜セミナー等を開催し消費拡大対策を図る。
事業2 園芸リサイクル事業	128,725 千円	園芸農家等から排出される使用済農業用プラスチックの適正処理の啓蒙, 指導, 円滑な回収及び中間処理を行い農村環境の保全と環境の調和した園芸農業を進めている。
事業3 園芸種苗事業	32,763 千円	県育成品種や, 優良園芸種苗の安定的な生産・供給を行い, 園芸新産地の育成及び園芸産地の維持発展を図る。

[組織]

7月1日現在の人数	平成16年		平成17年		平成18年					
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	0	1	
	非常勤理事	19	0	0	18	0	0	18	0	
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	3	0	
	計	23	0	1	22	0	1	22	0	1
職員	管理職	5	4	0	5	4	0	6	4	0
	一般職	9	0	2	10	0	2	9	0	2
	臨時職員	5	0	0	2	0	0	2	0	0
	嘱託職員	2	0	2	2	0	0	3	0	1
	計	21	4	4	19	4	2	20	4	3
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	0	3	2	11	16	47歳3月	1年5月			

[収支の状況]

社団法人園芸いばらき振興協会

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
収 支 の 状 況	収入合計	625,703	1,231,890	1,164,509
	事業収入	608,690	1,218,083	1,161,184
	事業外収入	17,013	13,807	3,325
	支出合計	680,984	1,231,871	1,156,958
	事業支出	653,469	1,176,251	1,149,593
	事業外支出	27,515	55,620	7,365
	うち管理費	110,975	130,841	127,179
	うち人件費	75,616	100,478	93,822
	当期収支差額	△ 55,281	19	7,551
	正味財産増加額	102,967	103,479	19,072
	正味財産減少額	114,184	87,307	30,272
当期正味財産増減額	△ 66,498	16,191	△ 3,649	
前期繰越正味財産	131,599	65,101	81,292	
期末正味財産	65,101	81,292	77,643	
財 産 の 状 況	資産	917,311	1,046,188	1,101,560
	流動資産	817,079	971,275	1,011,458
	固定資産	100,232	74,913	90,102
	負債	852,210	964,896	1,023,917
	流動負債	778,006	865,722	919,956
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	74,204	99,174	103,961
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	65,101	81,292	77,643	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
財 的 関 与 状 況	補助金	347,490	522,268	420,152
	委託金	7,443	7,532	8,517
	貸付金			
	計	354,933	529,800	428,669
	財政的関与の割合(%)	57%	43%	37%
	損失補償・債務保証			

[平成17年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	別紙参考
委託金	
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	4	14	28.6%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	10	6	36	16.7%
効率性	7	7	24	29.2%
合計	30	31	90	34.4%

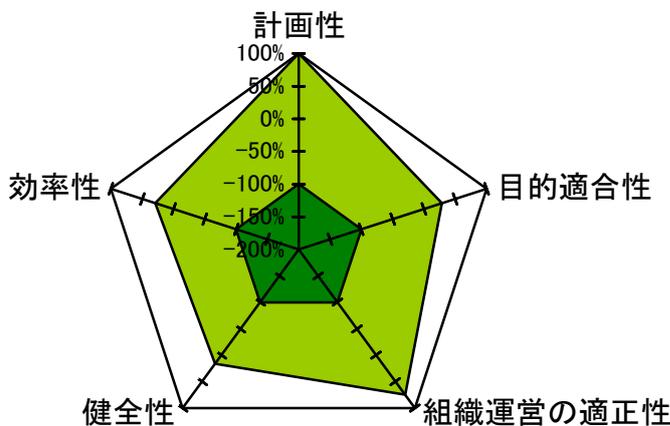
公益法人会計用

社団法人園芸いばらき振興協会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画をもとに戦略等を検討し、計画の実現に向け努力する。	県の園芸振興基本方針と整合を図りながら、行政及び団体と連携し、設立目的に沿って事業をすすめる。	派遣職員中心の組織であるため、派遣先の理解を得ながら、人員の適正な水準を維持し事業を円滑に遂行する。	会員(市町村・農協等)の合併等で会費収入の減少や県からの補助金依存度が高いことが課題である。効率的な事業運営に努める。	引き続き、経費の削減等に努める。
今後の事業展開の方向	本県の園芸は、生産・販売面での組織力の強化、品質の向上、本県産のイメージアップ等が課題である。このため、引き続き県域での生産・出荷組織づくりを進めながら、生産技術の向上及び流通改善等の事業を展開する。また、野菜価格安定事業や農業用プラスチックの適正処理及び園芸種苗事業は、園芸振興と密接な関係があるので更に園芸農家への啓蒙を図る。			

[法人を担当する課の意見]

計画性		目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中長期計画をもとに、事業推進状況、経営状況の課題等を正確に把握し、生産者、行政、農業団体等が一体となった園芸振興に取り組んでいく必要がある。</p>		<p>県で策定した「茨城県農業・農村振興計画」との整合性を図りながら、協会としての役割を明確にして、事業の執行を進めていく必要がある。</p>	<p>市町村やJAからの派遣職員が主体となった組織体制のため、適正な人員確保に努めていく必要がある。</p>	<p>幅広い事業を安定的に実施して行くためには、各事業における効率的な執行に努め、経営努力により県補助金への依存率を下げることが必要である。</p>	<p>引き続き、効率的な事務事業の執行に努め、運営経費の削減に取り組んでいく。</p>
第4次行財政改革大綱の推進工程	推進事項	<p>1 組織の統合又は管理部門の一元化 (財)茨城県農林振興公社, (社)茨城県穀物改良協会, (社)園芸いばらき振興協会の組織統合又は管理部門の一元化について、「農業関係3団体組織・事業の見直し検討委員会」を設置(平成18年6月)して検討し、平成18年度末を目途にその方向性を出したうえで、平成19年度に関係団体と実施に向けた調整を図り、平成20年4月からの実施を目指す。</p>			
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	計画	<p>・組織統合又は管理部門の一元化の方向性について検討委員会及びワーキングチームを設置し、見直し案の検討、取りまとめ</p>	<p>・組織統合又は管理部門一元化等の実施調整</p>	<p>・組織統合又は管理部門一元化等の実施予定</p>	
	取組状況	-	-	-	
法人担当課の意見		<p>・前年度の経営評価を踏まえ、園芸リサイクルセンターの施設修繕については、県補助金を施設維持引当金に充てることを改め、大規模な修繕工事については県が直接施工することとした。この結果、補助金としての性格がより明確となり、施設修繕の効率的執行が推進される。 ・協会組織は県、市町村、農協等からの派遣職員が多く在籍しており、在任期間も限られている。また、協会プロパー職員数も少ないことから、今後は、関係団体の協力を得て人材を確保する必要がある。</p>			

[総合評価]

<p>取組みを強化すべき視点</p>	<p>計画性 目的適合性 組織運営の適正性 健全性 効率性</p>
<p>総合的所見等</p>	<p>概ね良好 改善の余地がある 緊急の改善措置が必要</p> <p>当法人は、本県園芸振興を目的として生産組織の整備強化等の事業を中心に平成7年に設立された。その後、園芸リサイクル事業・野菜価格対策事業・園芸種苗センター事業を統合し現在に至っている。 財務的な問題は無いが幅広い事業を展開していることから各事業部門においては関係団体と更に緊密な連携のもと事業を進められたい。 また、当法人を含めた(財)茨城県農林振興公社、(社)茨城県穀物改良協会との組織の統合又は管理部門の一元化について検討する必要がある。</p>
<p>総合的所見等に 係る対応</p>	<p>当法人の各事業部門においては、県内各市町村、JAグループ、任意組合などの関係団体との連携を強化し、県内園芸農業の一層の振興に向けて効率的、効果的な事業運営が実施できるよう指導していく。 また、(財)茨城県農林振興公社、(社)茨城県穀物改良協会との組織の統合又は管理部門の一元化について関係機関が連携して検討するなど、組織・事業の見直しを図っていく。</p>

< 社団法人園芸いばらき振興協会 から県民のみなさまへ >

(社)園芸いばらき振興協会は、消費者ニーズに対応した魅力ある園芸農業を展開していくために、生産者・行政・農業団体が一体となり、園芸生産組織の整備強化や経営基盤の強化等を図ることを目的として設立した団体です。

このため、JAグループ・任意組合等が一体となったかんしょ・梨など品目別の組織づくりや、安全な青果物を生産出荷するための生産履歴記帳の普及推進、野菜価格安定事業などを行い、園芸の生産振興を支援しています。また、環境と調和した園芸農業を展開するため使用済み農業用プラスチックのリサイクルや、園芸種苗センターでのプラグ苗生産・供給による園芸産地づくり等に取り組んでいます。

今後もこれらの活動を効率的かつ効果的に推進し、本県園芸農業のより一層の振興を図ってまいります。

平成19年2月 会長 村田 省吾

[財的関与の状況]
補助金

金額(円)	目的	内容	効果
25,983,000	農業用プラスチック処理再生対策事業費	園芸リサイクルセンターにおける農業用使用済塩化ビニールの処理運営に対する助成	園芸リサイクルセンターの運営及び使用済みプラスチックの回収・処理が円滑に行われた
8,693,000	農業用使用済ビニール回収事業費	農業用使用済塩化ビニールの円滑な回収を図るための助成	使用済み農ビの適正処理の啓蒙指導を行い回収(4,347t)が円滑に行われた
2,301,000	農業用ポリエチレン適正処理対策事業費	農業用使用済ポリエチレンの円滑な回収を図るための助成	使用済み農ポリの適正処理の啓蒙指導を行い回収(1,097t)が円滑に行われた
45,736,647	いばらきの野菜産地強化総合推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 園芸いばらき振興協会運営費 園芸団体組織強化事業 情報紙発行事業 品目別振興対策協議会設置事業 園芸振興表彰事業 	協会の運営及び、園芸主要品目の組織強化や生産向上講習会等各事業が円滑に行われた
1,400,000	品質向上運動推進事業費	産地育成アドバイザーを設置して、市場評価向上のための、組織的な取り組み活動の支援やリーダーが果たす役割等を学習する研修会を行うための助成	産地アドバイザーを設置しブロック別リーダー研修会の開催等市場評価を高める活動の支援を行った
2,500,000	産地構造改革特別対策事業費	野菜消費量の増加と摂取の習慣化を促進するため料理フェアの開催、野菜セミナーの開催、産地体験交流会等を実施するための助成	主要野菜について、産地体験・交流会・料理展示・試食会等各種の消費拡大対策を実施した
27,468,179	園芸種苗施設運営管理費	園芸種苗施設において、県育成品種の採種優良園芸種苗の安定的な生産・供給を行い園芸新産地の育成及び維持発展を図るための助成	園芸種苗センターの運定及びピーマン・トマト等の苗の安定的生産・供給(2,276千本)が円滑に行われた(前年比101%)
306,069,954	野菜価格安定対策事業費	<ul style="list-style-type: none"> 野菜生産出荷安定資金造成事業 野菜価格安定運営費 県内消費野菜供給安定事業 転作野菜価格安定事業 新産地育成野菜価格安定事業 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 指定野菜供給事業 	野菜価格の低落時に生産者に対し価格差補給金を交付し野菜の安定的供給確保と野菜農家の経営の安定が図られた
計	420,151,780		
委託料			
金額(円)	目的	内容	効果
300,000	なし及びくり生産指導者等研修会	梨及び栗の品質向上や生産性向上を目指し生産指導者を対象に技術的指導や研修会を開催する	剪定講習会等を実施し技術の向上を図った
500,000	第31回いばらき県花の展覧会	花の品評会の開催に係る業務(審査会、品評会の開催、ほう賞に係わる事、出品のとりまとめ等)	10/28~30実施、花き栽培技術と品質の向上を図った
5,600,000	野菜指定産地等整備活性化推進	産地の現状診断、産地整備計画等の作成に関する指導、産地育成に必要な技術指導や啓発活動を行う	産地の実態調査及び指導を行い、生産出荷体制の強化を図った
2,117,415	園芸種苗センター管理委託	園芸種苗センターの管理業務	園芸種苗センターの保守管理(ハウス、浄化槽、電気、消防、ボイラー)が円滑に行われた
計	8,517,415		
合計	428,669,195		